

県政この一年

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の「感染拡大防止」と「経済再生」の両立に向けた対策に全力で取り組みながら、福井の未来を拓げるためにさまざまな政策を進めた1年でした。

感染拡大防止と新しい生活様式の確立に向けては、医療従事者、県内企業、県民の皆さんにご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。福井県では、1月11日(月・祝)までを「年末年始感染対策徹底期間」としており、引き続き感染防止対策の徹底をお願いします。



杉本 達治 知事



新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大防止対策

・医師会などと連携した検査・医療体制の強化

〔県内医療機関の検査可能数を約5,000件/日に拡充
感染拡大に備えた病床を確保し、宿泊療養施設を全国で初めて開設〕

- ・県内全世帯にマスク購入券を配布し、県民のマスクが入手しにくい状況を解消
- ・「感染防止徹底宣言」ステッカーを導入し、県民が安心して外出できる環境を整備
- ・AIを活用したインターネットのモニタリングを開始し、誹謗中傷を防止



発熱などの症状がある場合

当番医または受診・相談センターにご相談ください。

当番医については、[医療情報ネットふくい](#) 検索
受診・相談センター 電話 0776(20)0795
受付時間 7:00~21:00(土日祝日年末年始を含む)
※時間外は携帯電話番号を案内します

経済再生への取り組み

・消費喚起策として、さまざまなキャンペーンを実施

〔ふくいdeお泊りキャンペーン ふくいdeお得キャンペーン
福井で「倍返し!」キャンペーン ショッピング・エイドinふくい など〕

- ・オンラインを活用したビジネスを支援するポータルサイト「オンフク」を開設
- ・雇用維持に努める事業主への応援金や休業要請に対する協力金などにより、県内企業を継続的に支援



長期ビジョン完成

長期ビジョン

- ・2040年の福井県の将来像を県民と共有する「福井県長期ビジョン」が完成
- ・策定に向けて、一緒に未来を考える「FUKUI未来トーク」を開催するなど延べ5,000人を超える県民が参加



SDGsパートナーシップ

- ・長期ビジョンに掲げたSDGsの理念を共有し、活動の輪を広げるため、「福井県SDGsパートナーシップ会議」を創設(250以上の企業・団体が参加)
- ・公募により福井県版SDGsの公式ロゴマークを作成し、機運を醸成 公式ロゴマーク



新幹線開業に向けたまちづくりの推進

100年に一度のまちづくり

- ・世界最大のホテルチェーンであるマリオット・インターナショナル(アメリカ)の進出が決定
- ・「県都にぎわい創生協議会」と「福井城址活用検討懇話会」を設立し、県都のまちづくりの議論を開始
- ・道の駅「恐竜渓谷かつやま」がオープン



交流人口拡大・福井の魅力を発信

- ・恐竜博物館が開館20周年を迎え、「恐竜バス」やリニューアルした「きょうりゅう電車」を運行
- ・伝統的工芸品を通じて、福井県の魅力を全国に発信するため、BEAMSと女優の「のん」さんとのコラボにより「FUKUI TRAD」プロジェクトを始動
- ・「若狭ぐじ」「越前がれい」にプレミアムブランド“極(きわみ)”を設定



北陸新幹線の建設促進

- ・高架橋へのレール敷設を開始
- ・金沢・敦賀間最長の「新北陸トンネル」など県内12ヵ所全てのトンネルが貫通
- ・福井駅、南越(仮称)駅、芦原温泉駅の駅舎建設工事に着手

福井の優れた技術を世界へ

- ・県民衛星「すいせん」の打ち上げが、令和3年3月20日に決定
- ・福井発ベンチャー企業の事業拡大への機会を提供する「福井ベンチャーピッチ」を開催
- ・航空技術の研究開発などの連携に向け、JAXAと包括協定を締結



結婚・子育てを応援

- ・第2子以降の保育料等無償化や在宅育児を支援する「子だくさんふくいプロジェクト」を開始
- ・仕事と子育てを両立できる職場環境づくり、働きながら不妊治療ができる体制づくりへの支援制度を創設
- ・ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」を開設



将来を担う人材の育成

- ・「個性を引き出す」教育や「学びを楽しむ」教育などを進める教育振興基本計画を策定
- ・子どもたちが郷土に誇りや愛着を持てるよう、「ふるさと教育フェスタ」を初めて開催
- ・県立学校に1人1台のタブレットを導入し、オンライン学習の環境を整備
- ・県立大学に、「食・農・環境」のつながりを総合的に学ぶ「創造農学科」を開設



スポーツと文化で福井を盛り上げる

スポーツ

- ・スポーツによる地域活性化に向けて、地域スポーツコミッショング「福井県スポーツまちづくり推進機構」を設立
- ・県内5つのトップスポーツチームを「ふくい県民応援チーム」に委嘱



文化

- ・旧北陸線の鉄道遺産の魅力を伝えるストーリー「海を越えた鉄道～世界へつながる 鉄路のキセキ～」が日本遺産に認定
- ・国の文化審議会が「越前海岸の水仙畠」の重要な文化的景観への選定を文部科学大臣に答申



県民の安全・安心

- ・昭和42年度の調査開始から半世紀を経て、「足羽川ダム」の本体建設工事に着手
- ・1,000年に一度といわれる大雨での浸水を想定した「水害リスク図」を全ての県管理河川で作成・公表
- ・全ての県管理ダム(8つ)において、大雨前にあらかじめ水位を下げる「事前放流」の運用開始

